



いなむら

稲村ひさお 道政 だより

2023年 冬号

発行

稲村ひさお事務所
砂川市晴見3条北10丁目9番4号
TEL・FAX 0125-54-3385

皆様の声を道政に 空知の安心・安全な暮らしを守る！

新年、あけましておめでとうございます。皆様には健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、私の4期目の任期も残りわずかとなりました。北海道議会議員の議席をいただいて以来、本当に多くの皆様から心温まるご支援を賜り、深く感謝とお礼を申し上げます。

私は、「安心して暮らせる空知！元気になる空知！」をモットーに活動を続けてまいりました。道議会においても前期は会派の会長、後期は監査委員を仰せつかり、空知のみならず道内各地の課題やあらゆる行政分野の問題にも深くかかわることができました。空知においては、急速な人口減少、地域医療の確保、住民サービスに直結する市町村財政の確立、さらにはコロナ禍で疲弊した地域や経済をどうやって立て直していくかなど依然として様々な分野で課題が山積しており、今後も全力で課題解決に取り組む決意です。引き続き、変わらぬご指導・ご鞭撻と、さらなるご意見をお寄せくださいますようお願い申し上げます。

最後になりますが、本年が皆様にとってご健勝で幸多き一年となりますようお祈り申し上げます。



本年もどうぞよろしくお願い致します

北海道議会議員 稲村 久男

稲村ひさおの活動アルバム Activity record



会派の会長として新型コロナに関する要望書を提出



空知の安心・安全な暮らしのために！



連合後援会 若山会長と力を合わせて



基幹産業の農業を守る



地域に安心と元気を！



地域の声を道政に届けます

稲村ひさおホームページ <http://www.i76rider.ecweb.jp/>

稲村ひさお

検索



稲村ひさお 活動報告

◇道議会での質疑回数 (令和4年12月まで)

・代表質問	2回	156項目
・代表格質問	1回	61項目
・一般質問	8回	101項目
・委員会質問	21回	256項目

◇主な役職等

- ・立憲民主党北海道総連合 選挙対策委員長
- ・立憲民主党北海道第10区 総支部長代行
- ・自治体議員連合 会長
- ・産炭地議員連絡協議会 会長

◇会派

- ・民主・道民連合議員会 会長(4期目前期)
- ・北海道監査委員(4期目後期)
- ・民主・道民連合議員会 消防協議会議員連盟 事務局長

◆地域医療確保・新型コロナ対策

深刻な医師不足や診療報酬のマイナス改定など、厳しい医療情勢の中、地域医療を確保・充実することは、道民が安心して暮らすための基盤であり、私の最重点課題です。

空知管内においても、自治体病院が地域医療を担う重要な役割を果たしている一方、経営状況は厳しい状況に置かれています。こうした道内医療を支えてきた公立病院の現状を鑑み、医業収益や経営分析を行い、各公立病院に対し、地域医療の方向性を提言書として取りまとめ提出しています。

さらに新型コロナへの対策では、自治体病院は現場の最前線で日々奮闘していますが、感染拡大は一向に収束する見込みはありません。

地域の感染状況を踏まえた、対処方針の見直しなど適切な対策を速やかに講じるよう国に求めており、高齢者施設や福祉施設、医療施設でのクラスター発生の防止はもとより、高齢者や基礎疾患を有する方が、適切な治療を受けられるなどの重点的な対策を講じる必要があり、地方創生臨時交付金を活用し、道独自の緊急的な対策を実施させ、その効果を検証する取り組みを引き続き進めます。

国の対処方針の改正を待っているだけでは、感染予防対策の徹底と社会経済活動の両立はできないことから、これからも道民に寄り添う政策を追求していきます。

◆物価高騰への対策

物価高騰が道民の家計を直撃し、日常生活に欠かせないガソリンや電気、食料品や日用品の値上げラッシュが我々の生活を脅かしています。さらに急激な円安が物価高に拍車をかけ、困窮世帯への給付などの一時的な支援では、道民の生命と財産を守れません。さらに物価高騰の影響は北海道の基幹産業である農業や漁業、林業など様々な分野にすでに深刻な影響を及ぼしていることから、コロナから回復基調にあった道民の日常が再び苦境に立たされないよう、財政支援が漏れなく速やかに行き届くよう訴えてきました。道民生活は日々切迫していることから切れ間のない支援を講じるよう申し入れを行い、緊急避難的な対策とならないよう国の地方創生臨時交付金を活用し、日常的な支援に加え、生産性の向上やさらなる成長につながる取組みとなるよう推進させることができました。



◆市町村財政

私が「市町村財政」の確立に取り組む理由は、市町村の住民サービスを充実させたいからです。特に、空知管内には、国によるエネルギー政策や農業政策の転換、急激な人口減少、交付税の削減などの影響により、厳しい財政運営を強いられている市町が多くあります。

私は、道議会における質疑や、空知管内の議員等で構成される「空知産炭地議員連絡協議会」の会長として、中央省庁や国会議員、道に対して財政支援策の強化を要請してきました。これらの活動が、産炭地に対する地方交付税の確保、夕張市に対する道の補助金や職員派遣に寄与していると考えています。

また、自治体病院の経営悪化が市町村財政に大きな影響を及ぼしていることから、国会議員と連携し、空知管内の自治体病院に有利な借り入れである公立病院特例債を活用できるよう努めたほか、過疎債の適用範囲を拡大し返済期間を延長させたことは、市町村長や国会議員とも連携した活動の結果と考えています。

◆事業者・農業者への支援

新型コロナの影響により、事業者の休業案件数は大幅に増加しており、廃業を防ぐための実効性のある対策として融資制度があります。事業者の経営基盤強化を図り事業の再生につなげるため、道の感染症対策事業に伴う融資枠1兆円に5,000億円の増額と、警戒ステージの要請に応じた資本増強支援事業の展開を知事に提案し、無利子融資の需要が高いことから増額を図ること、また、資本増強支援事業も金融機関と連携し活用を促すことを確認しました。

また外食需要低迷や食文化の変化等により米価が大きく下落し、農業者の経営基盤を揺るがしています。米農家の生産意欲の低下から、米生産の安定性が損なわれることがないよう政治的な配慮が必要であることを強く訴えています。コロナ禍の影響による需要減少相当分の在庫対策を確実に実施させるとともに、こうした不安要素が農業者、特に新規就農者の意欲減退に繋がらないよう更なる取組と対策を強化するよう今後も求めます。

◆民主・道民連合議員会の会長として

私は、4期目の前期に会派の会長に選任されました。会派の運営・決定をする立場であり、議会中は、会派の意見をまとめ代表質問も行いました。議会閉会中は、道内各地での意見交換会や団体等からの要望対応、党や中央省庁への要請行動に取り組みました。今後も、皆様の声を道政に反映させるため、これまで以上に会派のまとめ役としても全力を尽くす覚悟です。